

第2回当別町史編さん委員会 会議概要

日 時：平成 31 年 3 月 27 日（水） 午後 2 時

出席者：（事務局） 館田総務部長、長谷川総務課長、五東総務係長

山崎教育部長、小出社会教育課長、三浦主幹、下村主任

倉田歴史研究専門員

（委 員） 竹田委員長、松尾副委員長、白井委員、野口委員、大口委員、曾川委員、大畑委員

1 開 会 長谷川総務課長

2 挨 拶 竹田委員長

3 議 事

(1) 当別町史編さんの基本方針（案）について

事務局より基本方針（案）について、「当別町史編さんの目的」、「基本方針」、「当別町史編さん計画」、「当別町史の構成」、「まちの歴史研究」の 5 点に分けて説明し、委員の意見を反映させた上で、次回の委員会で決定することとした。

(2) 当別町史の柱立（案）について

事務局より柱立は、そのまま構成、目次として決定するのではなく、総論として幅広い分野について取り上げることを基本として、以下の 11 項目を基礎として進めていくことを説明し、次回以降、時間をかけて基礎を決定していくこととした。

- 1 町内外の情勢関係、人口問題、ダム
- 2 農業構造の改善、各種農林業関係団体
- 3 商店街の再編、観光振興、工業の振興
- 4 国道、道道、J R、バス関係
- 5 学校の再編、文化、スポーツ活動
- 6 乳幼児から高齢者までの福祉、介護保険、国民年金
- 7 医療機関関係、健康指導等の保健衛生、国民健康保険制度
- 8 就労者数の変遷、娯楽関係、ごみ処理の開始
- 9 防災、消防事務組合、交通安全運動、火災予防
- 10 当別神社、寺院の再編
- 11 当別 150 年事業を踏まえて未来のまちづくりへのメッセージ

4 その他

事務局より平成 31 年度事業計画及びスケジュールについて説明。

平成 31 年度の委員会については、年 4 回を計画。6 月頃に町史編さん方針を決定し、これに基づき仕様書等を作成し、9 月までにプロポーザルを実施し、編さん業者を決定。9 月頃の委員会で決定した業者を報告。12 月頃の委員会で、編さん業者と事務局で協議した町

史の構成・目次案を提出し、委員の意見をいただいた上で、平成 31 年度中に構成・方針を決定。平成 32~33 年度については、進捗状況の把握、当初の方針に合っているか、原稿内容に当別の特徴が反映されているか、誤りがないか等の検証作業が主となって、平成 34 年度を完成の目標として進めていく。

委員より以下の質問があった。

(委員)

地域の人からわかりやすく愛されるという点において、各地域でそれぞれ特色の異なった発展があったり、無くなってしまった地域もあるので、その辺を精査して載せてもらいたい。

(事務局)

50 年の間に発展したものや廃れていったものがあると認識しているので、「未来への展望」の中で拾っていきたい。柱立についてもジャンルごとにボリュームが変わってくるので、それも特色と踏まえてご協議いただきたい。

(委員)

福祉活動も活発になってきているので、載せてほしい。

(事務局)

網羅できるようにしていく。

(委員)

この 50 年で考えるとスウェーデンヒルズが新しくできた。なぜヒルズができたのかという経緯など、地区の詳細が重要になるのではないか。

(事務局)

ヒルズに関しては 100 年史にはなかったものができているということは、すごく重要なことで外せないと考えている。各地域の 50 年の発展を全体のどれだけの割合を占めていくのかを協議して、編さんの業者も含めてバランスをとっていくのがこの委員会の大きな役割だと考えている。

次回会議の日程を 6 月 24 日とし、閉会した。